

# 花と緑の銀行だより

231号 2024.5



(写真：歌の森運動公園西側広場花壇)

## 目次

- ・花と緑の提言 射水市の花と緑のまちづくり (射水支店) ..... 2
- ・活動事例 高岡支店の活動について (高岡支店) ..... 3
- ・技術講座 生態系に被害を及ぼすおそれのある宿根草 (職藝学院 渡邊美保子) ..... 4
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理 ～ シラカシ ～ (樹木医 西村正史) ..... 5
- ・とやまの花壇 ～ 砺波市 東野尻花と緑の推進協議会 ～ ..... 6
- ・この人あり 「花いっぱいのおみの郷」大作戦で地域の活性化を目指す  
(富山支店 小見地方銀行 頭取 山森 潔) ..... 7
- ・報告及びお知らせ 花とみどり・ふれあいフェア など ..... 7



## 射水市の花と緑のまちづくり

花と緑の銀行 射水支店長  
射水市長 夏野元志

5月に入り、日々新緑の色が輝くとともに、本格的な田植えシーズンに向けて田園の情趣も豊かになるなど、春から初夏に向けての移り変わりをを感じる、そういった季節を迎えています。

各地区の花と緑の銀行に携わる皆様におかれましては、日頃から花と緑による美しい地域づくりに多大なご尽力をいただいておりますことに、改めまして敬意を表しますとともに、厚く感謝を申し上げます。

射水市は、環日本海交流拠点である富山県のほぼ中央に位置し、コンパクトな市域に、富山湾・射水丘陵をはじめ、海・川・野といった豊かな自然環境に加え、連綿と受け継がれてきた伝統文化にあわせて、四季に応じ様々な風景を楽しむことができます。

また、日本海側最大級の斜張橋である新湊大橋や海王丸パーク、映画やドラマのロケ地となっている内川、県民公園太閤山ランドなど、魅力ある地域資源を多く備えています。

本市では、これらの強みを生かし、それぞれが連携を図りながら、地域のにぎわい創出や交流人口の拡大、さらには、持続可能で満足度の高いまちづくりの実現に向けて取組を進めています。

このような中、「花と緑の銀行射水支店」では、花と緑によるまちづくりを推進するため、地域向けの緑化木や花苗の配布をはじめ、夏場の花壇コンクールの開催など、各支所の頭取・グリーンキーパーの皆様にご協力をいただきながら、花と緑が豊かな地域づくりを進めています。

とりわけ、花壇コンクールでは、「街角花壇部門」という比較的規模が小さな花壇や花壇づくりに取り組み始めた花壇を対象とした部門を設けるなど、門戸を広げ、多くの団体にコンクールへ参加いただけるような取組を実施しています。こういった内容のほか、花と緑の普及に向けた取組の中で、市内には県内でも高い評価を受けている花壇が多数あります。

中でも小杉花作り同好会が管理されている「歌の森運動公園西側広場花壇」は、広い面積を誇り、かつ、花の種類が豊富で、それぞれの花の良さを互いに引き出しあうように緻密な設計をされるといった工夫がなされています。

また、大門地区いちのいの市井自治会が管理されている「市井コミュニティ花壇」は、トロピカルな色合いが特



写真1 歌の森運動公園西側広場花壇

徴的で、親子連れで公園をくつろぎつつも、近くで花と触れ合えるようなつくりの花壇となっており、いずれの花壇も富山県花のまちづくりコンクールの「プレミアム花壇部門」において最優秀賞を受賞されるなど、輝かしい功績を残されています。

花や緑は四季を通し、日々の生活に寄り添い、彩



写真2 いちのい市井コミュニティ花壇

りや潤いを与えてくれます。美しい花壇づくりをはじめ、花と緑による豊かな自然・郷土との共生を図るまちづくりを推進し、これまで以上に満足度が高く、幅広い世代の皆様から選ばれるまちの実現に向けて、取組を進めてまいり所存でありますので、各地区の頭取やグリーンキーパーの皆様、関係の皆様におかれましては、引き続き格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

# 高岡支店の活動について

花と緑の銀行 高岡支店 事務局長  
高岡市景観みどり課長 田口昌子

## 1 高岡支店について

高岡支店には34の地方銀行があり、300人を超えるグリーンキーパーの方々が日々地域の緑化のために活動していただいております。また、高岡市には「高岡市花いっぱい連盟」という団体が別に活動しています。高岡支店、高岡市花いっぱい連盟2つの団体で高岡市の緑化を担っています。

本支店の主な活動として、5月に夏苗、10月に球根、11月に秋苗等、花苗等の配布を行っております。また、そのほかにも緑化木、プランターの土等を配布し地域の緑化活動の手助けを行っております。

また、高岡支店では多くのグリーンキーパーが活動しており、グリーンキーパーの活動をきっかけに個人でコンクールに応募するなど花を育てる楽しさが地域、個人に広がってきています。



写真1 夏苗配布の様子

## 2 花で飾るフォトスポット事業in富山の活動について

令和5年度に高岡支店では、上記活動として、高岡市雨晴にある「道の駅雨晴」のフォトスポットを設置しました。設置においては道の駅雨晴のスタッフの方々にも協力いただきました。フォトスポット周辺に花や緑を増やすことで写真映えが華やかとなり、市内外から訪れる観光客の方々が写真を撮り、SNSで発信することで高岡市のPRにつながりました。今年度だけでなく、来年度以降も道の駅と協力しながら、花と緑の推進に努めていきたいと考えております。

## 3 各支店の交流について

高岡支店では11月に活動推進会議という研修を

行い、各地方銀行のグリーンキーパーの方々が集まり、研修の受講や交流を行っております。今年度は花と緑の銀行本店の方や地方銀行頭取の方の講習を聞いて、皆様知見を深めていらっしゃいます。各地方銀行のグリーンキーパーが集まる機会が普段なかなかないため、本会議は貴重な場となっています。

## 4 全国花のまちづくりコンクールについて

全国花のまちづくりコンクールには、高岡支店から毎年多くの団体がエントリーしています。令和5年度は、高岡市立醍醐公民館花と緑の推進部会が入選をいただきました。

高岡市花いっぱい連盟が開催している花壇コンクール、フラワーラインコンクールや富山県花のまちづくりコンクールも含め、皆様コンクールの受賞を目指し毎年より良い花壇を作ろうと切磋琢磨されています。



写真2 醍醐公民館花と緑の推進部会の花壇

## 5 結びに

本支店として、花や緑を愛する気持ちをはぐくみ、地域の方々との交流につながることを大切にしております。今年度も、地方銀行と小学校が協力してシバザクラの植栽を行うなど、地方銀行が率先して活動するような形づくりを目指して日々活動しています。本支店に限らずですが高齢化等これからの活動において課題もあります。課題と向き合いながら今後ますます「文化創造都市高岡」がより緑あふれるまちになるために、緑化活動の推進に邁進してまいります。

# 生態系に被害を及ぼすおそれのある宿根草

職藝学院

教授 渡邊 美保子

ガーデニングに利用される宿根草の原産地を調べてみると、外国産の原種が数多く流通しているのがわかります。もともとその地域にいなかったのに、人間の活動により他の地域から入ってきた生物を外来種といいます。環境省が作成した「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」を見ると、私たちにもなじみのある庭園植物がかなり含まれているのに驚きます。「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づき栽培することを禁止されている植物もあります。たとえば、5月になると河原や道路沿いを黄色に染める北アメリカ原産のキク科のオオキンケイギクは、野外に定着して問題になるため「特定外来生物」に指定され、栽培すると罰金が科せられる宿根草です(写真1・写真3)。



写真1 オオキンケイギクの花(細い葉はチガヤ)。富山市福沢の黒川沿いの堤防にて。6月初旬。高さは30cmから70cm。開花期は5月～7月。かつて観賞用として導入されたが、その旺盛な繁殖力で在来種の生育場所を奪ってしまい、生態系に悪影響を及ぼすことから全国各地で駆除活動が行われている。

人が観賞目的で庭園に取り入れた宿根草の中には、こぼれダネで繁殖するものや、地下茎が伸びて広範囲に移動してゆくものがあります。これらの性質は、宿根草ガーデニングを楽しむ上では、雑草侵入を抑えたり、植え替えの頻度を少なくするなど手間暇のかからない良い点と捉えられていました。しかし、近年、地球規模で様々な動植物が簡単に移動できるようになると、繁殖の旺盛な種類は生態系に

何らかの悪影響を及ぼす可能性があることがわかってきました。

「外来種リスト」に掲載されている種は、「特定外来生物」のような栽培の規制はありませんが、日本の生態系等に被害を及ぼすおそれがあるとして、注意が呼びかけられています。たとえば、指定されている種のひとつのゲンペイコギクは、石垣の隙間や川沿いに侵入して広がってゆくので注意が必要です(写真2・写真4)。

ガーデニングで利用する宿根草は、原産地においては、草原や河原などに自生している強健な種類であることが少なくありません。人の手によって運ばれてきた外来種が日本の環境に適応し、庭園から逃げ出してしまう可能性があります。庭園が日本の生態系につながっていることを意識して、花壇づくりを行う時期に来ているかもしれません。



写真2 ゲンペイコギク。キク科、中央アメリカ原産。開花時の高さは40cm程度。開花期は5月から10月。咲き初めは白花で咲き終わる頃に赤く染まる。開花期間が長く常緑であることから花壇の手前に植栽される定番の宿根草。



写真3 オオキンケイギク。富山市福沢の黒川沿いの堤防。6月初旬。



写真4 ゲンペイコギクの種子。5月下旬から10月にかけて風で散布される。

# 庭木に利用する樹種の特徴と管理

## ～ シラカシ ～

(一社)日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村正史

シラカシは街路や公園などの緑化木としてよく使われており、成長すると20m程度の高木になりますが、剪定に強いという特徴があるため庭木や生垣として利用されている樹木でもあります。今回はシラカシを紹介합니다。

### 1 特徴

ブナ科コナラ属の樹木で、冬も葉をつけている常緑樹です。名前は、材が白色であることに由来しているとされています。日本では福島県以西に、朝鮮半島では南部にそれぞれ分布し、照葉樹林を構成する樹種の1つです。

葉は5～12cmの長楕円形でやや厚く、葉の縁にはあまり目立たないものの緩やかなギザギザがあり、表面は光沢のある緑色で、裏面はウラジロガシほど白くはありませんが、白みを帯びた緑色です(写真1、2)。10月頃にはドングリがなります(写真1)。

若いうちは日陰に耐え、成長が早い樹木です。病害虫に強く、刈り込みにも強いので、防風樹、防火樹、生垣、公園樹、街路樹、庭木として利用されます。材は固くて重く、弾力に富み、器具類に利用されます。薪としても利用されます。

### 2 維持管理

広い庭では放任でもよいのですが、狭い庭では高さや幅を抑えて形を整える剪定が必要です。また、生垣として利用する方法もあります。写真3は富山県中央植物園の周囲の一部で植栽されているシラカシの生垣です。枝葉がよく繁茂していますので、一定の高さと幅を保つには剪定が必須です。11月または4月

の剪定は強く刈り込みますが、6～7月の剪定は徒長枝を軽く刈り込む程度で済ませます。自力でも可能ですが、造園業者さんに依頼すれば仕上がりが非常に良くなります。

シラカシは病虫害に強いのですが、目立つ被害として紫かび病(写真2)とこぶ病(写真4)があります。前者はうどんこ病の仲間で、葉裏に始め汚白色の菌そうができ、これは次第に褐色から濃褐色に変わるとともに厚さをまして、ビロード状になります。病葉の葉表は菌そう部分が黄緑化してよく目立ちます。後者は、根頭がんしゅ病細菌が地際部に感染してこぶを形成し、その中で増殖した細菌が幹に移動し、傷を受けた細胞で増殖して、二次的に写真4のようなこぶができます(樹木医の仲間からの情報です)。どちらも見た目はよくありませんが、シラカシの樹勢を弱めるようなことはないようですので、安心してください。

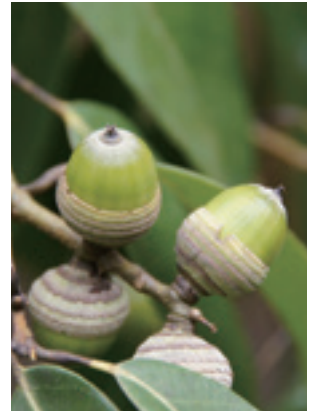


写真1 シラカシの葉(左)とドングリ(右)



写真2 紫かび病の被害葉  
(左:葉表、右:葉裏)



写真3 シラカシの生垣



写真4 幹にできたこぶ病

# とやまの花壇 ～ 砺波市 東野尻花と緑の推進協議会 ～

富山の各地域で、皆さんが丹精込めてお世話されている素晴らしい花壇をご紹介します。  
花とみどりの癒しのスポットを、是非、ご探訪ください。

## 1 花壇の特色

砺波市苗加にある東野尻地区運動公園に隣接して、東野尻花と緑の推進協議会が管理されている花壇があります。

平成4年から、東野尻運動公園の整備の一環として花壇づくりに取り組まれたもので、当時この場所にあった東野尻幼稚園の園児の情操教育に役立てようという狙いもあったとのこと。

平成8年の全国都市緑化フェアでは、サテライト会場の1つとなり、それを機に地区民の緑化意識の向上が図られたとのこと。

元々小学校跡地に山砂で土盛りされた花壇からスタートしたため、土が痩せていたことから、長年土壌改良に熱心に取り組んでこられました。

その一方で、花壇全体の3割程度に宿根草を植えて“宿根ゾーン”とし、花苗づくりの経費削減とともに、一年草と組み合わせた特徴ある花壇設計を工夫して行っておられます。



写真1 東野尻花と緑の推進協議会の花壇

## 2 活動概要

### (1) 取組みと工夫

- ・花と緑の推進委員に花壇の花苗移植と花壇管理を当番制で行ってもらっている。
- ・老人会（緑寿会）会員が、育成ハウスや花壇の水やり、花柄摘みなどの軽作業を担当
- ・今でも、苦土石灰、完熟牛糞、バーミキュライト、ピートモス、そして完熟腐葉土など、多くの土壌改良資材を施用
- ・昨年からは、土が固くなってきたため、さらに燻炭を試験的にすき込むなど、さらなる土壌改良を実施
- ・敷地内にある水車小屋とムクゲの生垣、そして小学校跡地の記念碑をも景観の一部として花壇に取り込んでいる。
- ・宿根草を取り入れることで、四季折々に表情の変化を楽しめる花壇にしている。
- ・花壇が西向きのため、丸一日強い日差しが当

たり、そのうえ隣接するグラウンドからの熱風もあるため、天気予報に合わせて遮光ネットで日差しの調整を行っている。

- ・ほとんどの花苗をプラグ苗から育成し、水管理・切り戻し・施肥などしっかりした管理を行い、花壇での定着率アップにつながっている。



写真2 東野尻花と緑の推進協議会の花壇

### (2) 花壇づくりへの思い

まずは、高齢者であっても、無理のない作業と継続が可能な仕事量であることに重点を置いて、“宿根ゾーン”では自動灌水やポンプの増設を行うことで、水やり作業の軽減を図っています。

除草に関しても、通路は防草シートを張り、花苗の周りにはバーク堆肥でマルチングを行うことで雑草を抑制し、除草の頻度を少なくしています。

花柄摘みや切り戻しなどで手間の掛かる一年草については、極力管理しやすい種類の花を厳選して植え付けています。

花壇設計においては、通路と作業通路を明確に区分することで、一般の方にも身近で花を鑑賞していただけるように通路の幅を広げ、さらに休憩スペースにテーブルと椅子を設置しました。

遊び心が満載の花壇を目指して、木造りのシカヤベンチ、ハンギングバスケットなどを飾り付けて、もっとワクワクする花壇にしたいと思っています。

これからも、推進委員の方が楽しく活動できる、素敵な環境と人間関係を作り、憩いの場として花づくりを続けられることを願っています。

(以上、東野尻花と緑の推進協議会会長 高木 清一さんにお話を伺いました。)

### ●花壇の概況

- ・規模：1,960㎡
- ・見頃：7月～10月
- ・所在地：砺波市苗加  
東野尻地区運動公園横

# 「花いっぱいのおみの郷」大作戦で地域の活性化を目指す



花と緑の銀行 富山支店

小見地方銀行 頭取 **山森 潔**

立山山麓一帯には、三つのスキー場や三つの温泉があり、かつては多くのスキー客で賑わっていました。スキーブームが去り、賑わいが徐々に消えて行き、更に、らいちょうバレースキー場に架かっていたゴンドラリフトが老朽化で撤去されると、夏場に訪れる観光客さえも激減してしまいました。この厳しい流れを変えるべく、富山県の「中山間地域チャレンジ推

い花を咲かせ続け、富山市の花壇コンクール「花の道部門」で最優秀賞を頂く事が出来、努力へのご褒美を頂いたものと思っています。

花のお世話は誰にでもでき、適度な運動と作業中のおしゃべりで健康増進にもつながり、美しい花々の色と香りが心身の疲れを癒やしてくれる事は間違いないと思います。

大自然が広がる立山山麓で有っても、色とりどりの花が植えられた花壇やプランターは、別の魅力を来訪者にプレゼント出来ると思います。今後の「花いっぱいのおみの郷」大作戦は、現在のプランター花壇、シンボル花壇を継続させると共に、三つのスキー場に多年草（例えばオルレア）の種をまき、ゲレンデを「花いっぱい」にしたいとの構想を練っています。

立山山麓エリアには、ミズバショウの群生地が点在し、原亀林道沿いには白樺の自然林が美しい「白樺平」も広がっています。

そんな、おみの郷、立山山麓へ是非足を運んで頂ければ幸いです。



写真1 原地内の観光花壇

進事業」も活用し、交流人口増を目指して、令和4年度から2年間にわたり「花いっぱいのおみの郷」大作戦を実施しました。

令和5年度の「花いっぱいのおみの郷」大作戦では、地域への入り口から立山山麓まで、地域住民、企業総出でメイン道路沿いに250基のプランターを並べると共に、原地内の「観光花壇」、小見公民館「裏庭花壇」、亀谷温泉「白樺の湯花壇」の三つのシンボル花壇も、グリーンキーパーや地域の花愛好者の力を借り、美しい花をいっぱい咲かせ来訪者を歓迎することが出来ました。

大変な猛暑の中、皆さんの献身的な水やりで美し



写真2 小見地域の皆さんと花壇管理

## 報告コーナー

### 令和5年度「花とみどり・ふれあいフェア」を開催

2月17日(土)、18日(日)の2日間、令和5年度の「花とみどり・ふれあいフェア」をファボーレ(富山市)にて開催しました。

元日の能登半島地震の影響により、太陽の広場が使用不可となったことから、コンサートは中止、体験教室も規模縮小での実施となりました。

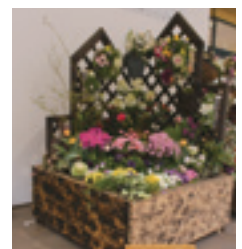
そんな中でも、『花と緑でウェルビーイング』をキャッチフレーズに、お気軽体験コーナーや緑と親しむ体験コーナー、花の展示コーナーなどを中心に、ご来場の皆さんにはご家族やお友達と一緒に、花と緑を見てふれて、心身ともにリフレッシュしてもらえたのではないかと思います。

#### ○ コンテナガーデンコンテスト入賞作品

賞	市町村	地方銀行	出展団体	タイトル
大賞	砺波市	種田	種田花と緑推進協議会	とみ野に春が来る
優秀賞	上市町	上市支店	花と緑の銀行上市支店	ともに新しい未来へ
佳作	南砺市	井波支所	八乙女花壇会	木ぼり井波の春
佳作	南砺市	井口	camellia G	赤祖父から春の便り
佳作	高岡市	戸出	高岡市立醍醐公民館 花と緑の推進部会	早春賦・醍醐Ⅱ



花の展示コーナー



大賞  
種田花と緑推進協議会

\* 応募総数：10作品 県内各地の「花と緑の地方銀行」から出展


○わたしの寄せ植え入賞作品

賞	氏名	市町村	タイトル
最優秀賞	吉居 紀子	南砺市	うましき春
優秀賞	中谷 明子	射水市	春よ こい こい
優秀賞	高木 清一	砺波市	陽たつ、春を待つ人へ
新人賞	五十嵐 直美	富山市	春のバスケット ～flower & succulents
佳作	松本 歌子	射水市	愉しむ小庭
佳作	宮野 裕子	砺波市	早春の舞
佳作	石黒 尚子	射水市	旅立つ娘を見送り…
佳作	京角 玉子	射水市	百歳 百壽 (ももじゅ) の福寿草 介護でクルシミマースのクリスマスローズ そこには花と笑顔がいっぱい



最優秀賞 吉居 紀子

\* 応募総数：〈19 作品〉 一般の方からの出展、〈1 作品〉 特別出展（審査対象外）

 お知らせコーナー（6月～8月の主なイベント）

 令和6年度花と緑のコンクール

コンクール名	応募締切	審査日
○ 富山県花のまちづくりコンクール 学校花壇部門	7月10日(水)	7月22日(月)～23日(火)
プレミアム花壇部門	7月17日(水)	7月29日(月)
花の道部門	7月17日(水)	7月30日(火)～31日(水)
一般花壇部門	7月24日(水)	8月5日(月)～6日(火)
○ 花と緑の標語コンクール	8月1日(木)	8月30日(金)
○ 花と緑のポスター原画コンクール	9月9日(月)	9月13日(金)

 富山県中央植物園

- 夜間開園「ゲッカビジン観賞」 6月中旬～7月下旬（開花日2日間） 19：00～21：30
- 夏休み子ども企画「森のクラフト」 7月26日(金)～8月28日(水)（8月2日～4日を除く）
- 夏休み子ども企画「オオオニバスに乗ってみよう」 8月2日(金)～4日(日)
- 夜間開園「夜の熱帯植物探検」 8月23日(金)・24日(土) 18：30～21：00  
（詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。）



 県民公園 頼成の森

- 頼成の森”花しょうぶ祭り” 6月14日(金)～23日(日) 9：00～17：00
- 野鳥と昆虫の観察会 7月21日(日) 9：30～12：00 定員：25名 参加費：無料
- 守り人と歩く頼成の森<カブトムシウォッチング> 7月28日(日) 10：00～11：30 定員：20名 参加費：無料
- 竹を使った工作教室 8月4日(日) 9：30～12：00 定員：20名 参加費：600円
- 木製楽器づくり教室 8月25日(日) 9：30～12：00 定員：20名 参加費：600円  
（詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ）

◆お願い

各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。  
各行事の詳細はその都度担当部署へお問い合わせください。

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森  
〒939-1431 砺波市頼成156  
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450  
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 231号

発行日 令和6年(2024年)5月  
再生紙を使用しています。